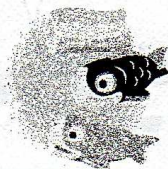


楽 楽


<http://www.asahikonsei.com/>

■練習スケジュール■

月 / 日		会 場	時 間	備 考
5月	9 (土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	17 (日)	〃	〃	日曜練習
	23 (土)	〃	〃	
	30 (土)	〃	〃	
6月	6 (土)	〃	〃	
	14 (日)	愛知県合唱祭出演		詳細後日
	20 (土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	28 (日)	〃	〃	日曜練習
7月	4 (土)	〃	〃	
	11 (土)	〃	〃	
	18 (土)	〃	〃	
	25 (土)	〃	〃	

■長谷川美智子さん退団あいさつ■ 一 手紙、原文のままー

旭混声合唱団の皆様

新緑の美しい季節となりました。その後皆様お元気にお過ごしのことと思います。

さて、私体調をくずして永い事お休みさせて頂いておりました。この間皆様よりご心配やお心遣いを頂きまして本当にありがとうございました。お陰さまで一時よりかなり良くなりましたが、これからも合唱を続けてゆくのは、無理だと判断致しました。改めて「退団」のご挨拶をさせていただきます。

思えば創立以来 23 年もの長い間、歌わせていただき、数十回の舞台経験、新年会や打上げ会、又、合宿やハイキングなどなど楽しい思い出がいっぱいです。この間、5 人の仲間との悲しいお別れは辛い思い出ですが、それも含めて私の生涯の中での「思い出の宝箱」となっています。正直言って「退団」を決意してから、とても複雑な思いと淋しさを味わっていますが、「いつかこんな日がある」というこの日が今回なのだと決断いたしました。これからは健康に気をつけながら、楽しく過ごせたらいいなと思っています。

長い間、本当にほんとうにお世話になり、ありがとうございました。

最後になりましたが、情熱と懇切丁寧なご指導を頂きました神谷先生！ 暖かい気配りで素敵な伴奏と指導をして下さいました石川先生！ 心から感謝しております。ありがとうございました！！

これからの旭混声合唱団の更なるご活躍を祈念して・・・

(追伸) いつか どこかでお目にかかった時はお声を掛けてくださいね。

■旭混声合唱団 H20 年度総会のご報告■

H21 年 4 月 11 日恒例の 旭混声合唱団の総会が開かれました。議長に林さん(B)を選出し清々と議事が進行し以下の通り議決されました。

●岩本団長報告

H20 年度は「第 7 回演奏会」をなんとしても成功させようとの 1 点で頑張ってきました。結果は皆さんの評価の通り素晴らしい結果を得ることが出来ました。神谷先生や、ピアノの石川先生、ヴォイスの毛利先生のお力添えの賜物とは思いますが、皆様個人の方の努力の結果であろうと内心誇らしく思います。56 回の練習日に年平均 87.2%の団員が出席という驚異的な出席率となりました。これは皆さんの生活にしっかりと根を下ろした結果だろうと思います。団員数も 10 月には 52 名を記録して、34 曲を歌ってきました。反面、創立以来歌い続けて来られたアルトの長谷川美智子さんが体力の限界を感じて、2 月を以って退団されました。今後も団友として応援をお願いしたいと思いますが団員の若返りについても皆で真剣に考えていく時期が来ていると感じます。

●技術報告 合瀬技術委員長

創立 20 周年記念演奏会を成功させ、新たな目標「更に深い響きを求めて」の 1 年間でした。「練習日を曲作りに」と取り組んで、音取り時間の短縮には一定の前進と評価しますが、発声、パートの声を一つにする点ではこれからの課題です。今年はこの課題に「真正面から挑戦する体制」として、技術系を「指揮者、ピアニスト、ヴォイスリーナ」に技術委員長を加えた音楽作りの核として、指揮者の要求に技術委員長、ヴォイスリーナ、パートリーダーを加えた団の技術陣で責任を持って行く体制としていきます。

●運営面

我が団の特長の「和気あいあいの楽しい雰囲気合唱を」求めて、パートマネージャーさんを中心にリリージョン係りの皆さんで新年会や新人歓迎会を実施したり、団員相互の交流の手助けに「新型名札」の導入など新しいアイデアも積極的に導入してきました。今年度は副団長が運営面を見ることとなります。

●会計報告

来年度より練習会場費が有料となる点を踏まえて、早急に予算案の作成を要望して、会計報告、監査報告を了承した。

●役員改選 ※以下の皆さんが選出されました。

- 団 長： 岩本 裕之
- 副 団 長： 合瀬 弘正
- 技術委員長： 須田千賀子
- パートリーダー： S 岩本純子 A 平尾和子 T 酒井敏行 B 伊東功祐
- パートマネージャー： S 久野希見子 A 吉原直子 T 梅村治康 B 酒井敦智

※その他の係りについては、後日、団長から発表いたします。

●H 21 年度の主な活動計画

- ◇ 6 月 14 日 愛知県合唱際出演
- ◇ 9 月 6 日 瀬戸合唱フェスティバル出演
- ◇ 11 月 尾張旭市民音楽祭出演
- ◇ 12 月 長久手町リニモ活性化事業出演(未定)

以上

えみちゃんの

突撃インタビュー



今月のインタビューは ソプラノの 加藤 祐三子さん で〜す！
2008年9月、ご主人（T加藤雅秀さん）、お母さん（S阿部芳子さん）
と三人で入団なさいました。初見からバリバリ歌われてたんで、
すごいと思ったんですが、それもそのはず…（^o^）／

家族構成
ふるさと

夫、娘（高2）の3人家族
名古屋市東区

趣味

食べ歩き（かなりグルメ）、旅行、本屋めぐり

特技

う〜ん…？ スキー（？）。下手だけど。あとはカットやイラスト描くこと。

性格は

芸術家肌（！？）とよく言われます。

小さい頃はどんなお子さんでした？

目立ちたがり屋。

休日のすごしかた 食べ歩き&ショッピング。あとは嫌々、掃除や台所仕事を少々…。

好きな歌手 SMAP

好きな曲 シューマンの作品命！

どんな曲を歌いたい？ ソロの場合と合唱の場合

ドイツもの。まさに今やっているブラームスはストライクゾーンです！！

あとソロの曲だったら…Mozartのオペラアリアの軽いものかな。“ツェルリーナ”
とか“スザンナ”とか。

今まで行って良かった旅行先

ありすぎて書ききれないけどあえて言うなら…

【国内】 沖縄⇒ 寒くないところがいい。沖縄の食べ物もスキ！

【国外】 ウィーン、ザルツブルグ⇒ 3月に行ってきました。町全体が音楽！芸術！！
って感じて最高！

行きたいところ これもありすぎ！ 北欧かな。ハンガリーもポーランドもいいなあ。

これからの人生やりたいことは？

今までの人生、かなりやりたいことやってきました。幸せなことだと思っています。

具体的なことはわからないけど、まだまだこれからひと花もふた花も咲かせます！！

合唱の経験

大学2年のはじめから15年間ぐらい「混声合唱団T&C」に入っていました。（ちなみに
にこの団で夫と団内結婚。）

他、「モーツアルト200」も数年在籍。今は「スコラ・カントールム・ナゴヤ」に入っ
ています。

あとは第九とか参加しています。

団への要望

もっと神谷先生とお話したい。トークする機会が欲しいわ



その他

名古屋市の中学に勤めて20年になります。（浅田真央は教え子です）

仕事が1/3、家族が1/3、プライベートが1/3…という感じで、全部テキトーにほ
どほどに生きてます。

フレンチ、懐石などかなり詳しいグルメおばさんなので興味ある方、情報交換よろしく
です。

お酒はダメですが、食事会などの機会があれば誘って下さいませ。



今回の似顔絵は祐三子さん直筆です。最初イラストをもらった時、なんてかわいい絵
を描くの！意外！！なんて思っちゃいました。（あ、失礼！）。夢に向かって奮進中！
いっぱい引き出しがありそうでもっとたくさん聞きたかったわ！

■イベント情報■

●北アルプス・サロンコンサート “トリオ de ブランチ”

◇ 日 時： 平成21年5月16日(土)

◇ 時 間： 午後5時～

◇ 会 場： 白馬スポーツホテルテリー

長野県北安曇郡白馬村八方和田野の森 TEL0261(72)5070

◇ 出 演： 『トリオ de ブランチ』

矢口十詩子 (Vl.)

山本 直人 (Ob)

石川ひとみ (Pf.)



まだ雪が残る白馬の山々と春のまぶしい里の緑の中、楽しい音楽のひとときを皆さんもいかがですか？ ライブの後は、トリオ de ブランチの皆さんと楽しい交流もあります。もちろんおいしいお酒も……(*^_^*)

【音楽豆辞典】

コラール (Choral) とは？

今、バッハの「マタイ受難曲」の中のコラール「(新) 第54番、O Haupt voll Blut und Wunden」を練習していますが、少しコラールについて記してみたいと思います。

一般的には「コラール」はキリスト教の賛美歌と考えてよいのですが、特にドイツではプロテスタント教会で歌われるものをさし、その起こりは宗教改革で名を知られているマルティン・ルターがラテン語聖歌をドイツ語化したものや、当時の親しみやすい世俗曲や民謡の旋律に聖書にちなんだ歌詞を付けたものなのです。

コラールの旋律は多くの場合単純で歌うのが容易です。これは元々専門の合唱団が歌うために創られたものではなく教会に集まった人々が歌うものとして考えられていたからです。ルターの宗教改革以前のカトリック教会ではラテン語による「グレゴリオ聖歌」が用いられ、音楽としての芸術性が高められた反面、教会に集う人々には難しくて歌えず声楽の教育を受けた人たちにより歌われました。ルターは教会に集う一般民衆にも歌えるようにドイツ語訳による聖歌、コラールを提唱したのです。初期のコラールはモノフォニー（旋律のみ）で書かれていましたが、後に合唱に編曲されて歌われるようになり、今日、多くのコラールがプロテスタントの教会で用いられる4声の賛美歌として親しまれています。もちろん、現代においては、教派において多少の違いはあるものの、一般的にはカトリックでは「聖歌」、プロテスタントでは「賛美歌」として各国の言語で歌われています。歌集はそれぞれ違いますが、なかにはメロディーは同じで歌詞が違っているものも結構あるようです。

＜マタイ受難曲＞宗教音楽の世界遺産とも言われ、合唱に関わっている人は一生に一度は歌ってみたいと思う優れた音楽です。新約聖書のマタイ伝からイエス受難のいきさつがオラトリオ形式で運ばれ、場面進行役の福音史家とともにイエス、ユダ、ペテロなどの役をソリスト達が歌い進め、弟子や民衆役の合唱がそれに絡むスケールの大きなオーケストラを伴う3時間に及ぶドラマティックな大曲です。物語の展開の中で、それぞれの場面の状況に合わせ数多くの「コラール」が散りばめられ歌われます。